



スマート・Fウォール/片側埋込み仕様

取付説明書


塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様などの危害や損害を未然に防止するためのものです。表示記号の内容をよく確認したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。



安全に関する記号	記号の意味
 警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
 注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれのある内容を示しています。

製品破壊、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

運搬及び保管

-  **注意** ●本製品はパネル等に硬質ポリスチレンフォームを使用しています。硬質ポリスチレンフォーム材は無塗装の部分が長時間直接太陽光のもとに放置されると、紫外線により劣化する恐れがあります。屋外で長時間保管する場合は、必ず養生シートなどで覆ってください。
- 搬入や施工時の運搬はカド打ちに注意して下さい。傷、へこみ、破損の原因になります。
- 硬質ポリスチレンフォームは80℃以上になると変形する可能性があります。高温の物や火気がない場所に保管してください。
- 当社汎用プライマー（水性）は、凍結させないでください。凍結させると本来の性能を発揮できなくなります。

施工上のご注意

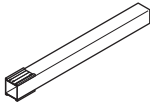
-  **警告** ●本製品の施工には専用の柱を使用してください。使用しない場合、反り・割れが生じる場合があります。
- 転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。思わぬ事故につながりケガをするおそれがあります。
-  **注意** ●本製品の強度基準を超えた条件下でのご使用は避けてください。
- 正しく施工・組付するために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 本製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 本製品の材質は硬質ポリスチレンフォームを使用しています。施工時、有機溶剤の塗装、接着剤を使用すると溶解するおそれがあります。塗材は水性弾性塗材、接着剤は当社規格品または、当社推奨品を使用してください。PSパネルは断熱性が高いため塗材が濃い色の場合、直射日光で高温となり蓄熱水蒸気膨れが発生する場合があります。日光を避けるなど、高温にならないための養生を施して塗装をおこなってください。
- 硬質ポリスチレンフォーム材同士を接着する場合
[当社規格品] オプション接着剤セット
[当社推奨品] (変成シリコン系接着剤) コニシ社 MPX-1・エフレックス/セメダイン社 PM525
- 硬質ポリスチレンフォーム材に石材等を接着する場合
[当社推奨品] セメダイン社 タイルエースPro/ニッタイ工業社 EY-21/コニシ社 エフレックス
※上記接着剤は弊社にて接着力を確認しております。
- 現場塗装仕上の場合、部材間に隙間や段差が生じる場合があります。この場合、コーキング材にて隙間や段差をなくしてから仕上塗装を行ってください。塗装割れや段差の原因になります。
- コーキング材は必ず変成シリコン系ノンブリードタイプを使用してください。
- 当社プライマーを現場にて塗布する場合、気温5℃以下での施工は避けてください。
- できる限り施工前に太陽光に当てないでください。部材が反ったり伸縮する恐れがあります。
- 落としてたり、物を当てたりしないでください。傷・へこみ・破損の原因となります。
- 車の排気ガスが直接当たる場所や、エアコンの室外機近くなど高温になる場所への設置はしないでください。変形や破損の原因になります。
- パネルを持つ際、汚れた手で触ると汚れが付いて落ちにくくなります。ご注意ください。
- 万が一、パネルに汚れ等が付いた場合は、中性洗剤を用いて柔らかいブラシ等で洗い流してください。
- 製品の特性上、本製品には色差・色ムラがあります。
- 柱ピッチは、取説に合わせて施工してください。
- 塗装済は吹き付け塗装仕上、現場塗装仕上用は下塗材（プライマー）塗装済、現場貼り仕上用は生地（プライマー未塗装）の状態でお届けされます。
- 基礎部のコンクリートには、急結材や海砂を使用しないでください。柱等の腐食の原因になります。

INDEX


	〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉
INDEX	1
梱包明細表	1
各部名称	2・3
1.柱建込み前の確認及び部材の組付	4
1.電気配線の有無確認	4
2.障害物等の有無確認	4
3.端部柱・中間柱・角柱・補助柱へのベース材取付部品の取付	4
2.基礎工事	4
1.柱・補助柱の建込み	4
2.基礎の打設	4
3.本体の施工	5～7
1.ベース材取付部品の取付(柱建込み前)	5
2.ベース材の組付(柱建込み時)	5
3.最下部パネル底面へのパネル隙間埋め材の貼付け(スマート・Fウォール+FメッシュフェンスV型を除く)	6
4.最下部パネルの組付	6
5.横棧及び横棧上の組付	6・7
6.パネル2段目以降の組付	7
7.最上部横棧の組付(補助柱があるスパンの場合)	7

梱包明細表〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

補助柱(1本入)セット

名称 部材・部品	略図	員数
補助柱		1
取付説明書		1

パネル隙間埋め材(2本入)セット

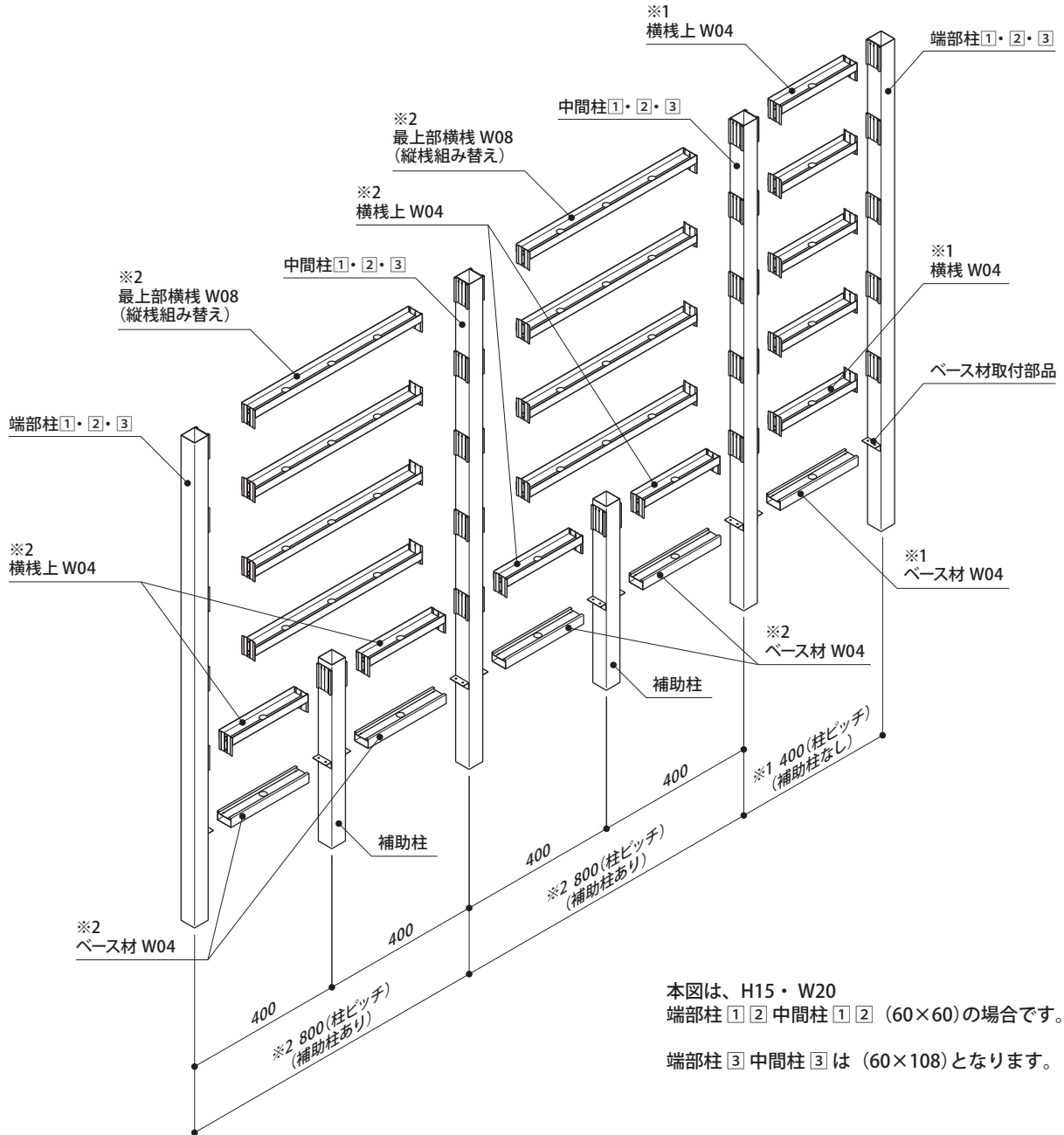
名称 部材・部品	略図	員数
パネル隙間埋め材	 L=200	2

各部名称〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

構造材

〈スマート・FウォールA型〉

(柱ピッチ800mm・400mmの場合)



本図は、H15・W20
 端部柱 ① ② 中間柱 ① ② (60×60)の場合です。
 端部柱 ③ 中間柱 ③ は (60×108)となります。

※1 補助柱なしの場合 (柱ピッチ400mm)
 柱ピッチ400mmの場合、補助柱は必要ありません。
 この場合、端部柱セット同梱の取付説明書を参照し、ベース材・横棧・横棧上を通常通り組み付けてください。

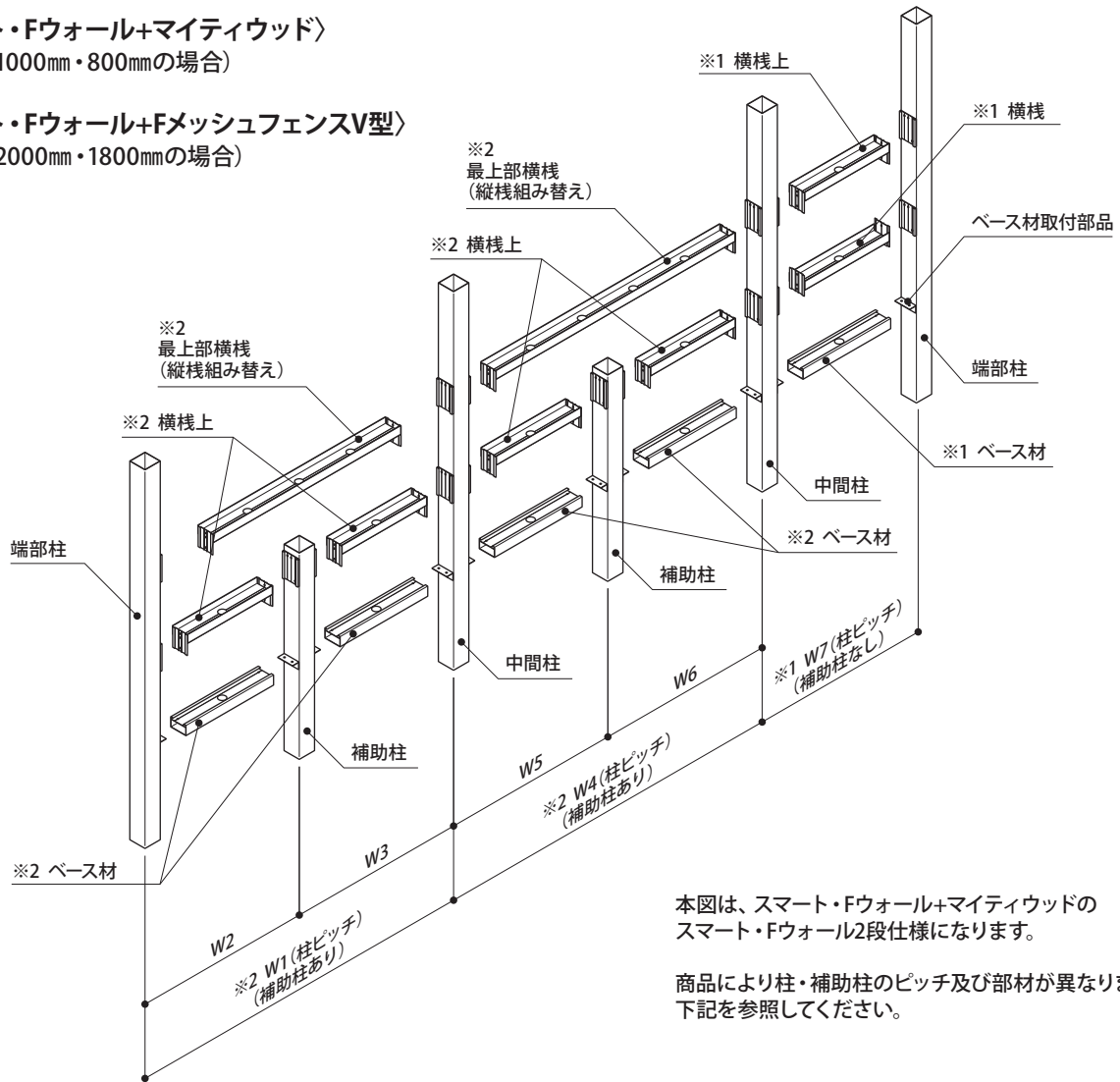
※2 補助柱ありの場合 (柱ピッチ800mm)
 ●1番下の横棧は横棧上になります。
 ●ベース材と横棧上はそれぞれW04+W04の組み合わせになります。
 ●最上部横棧は、横棧W08の縦棧を組み替えて取り付けてください。(P.7参照)

各部名称〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

構造材

〈スマート・Fウォール+マイティウッド〉
(柱ピッチ1000mm・800mmの場合)

〈スマート・Fウォール+FメッシュフェンスV型〉
(柱ピッチ2000mm・1800mmの場合)



※1 補助柱なしの場合 (切詰めた場合)

- スマート・FウォールA型+マイティウッドは、柱ピッチが600mm以下。
 - スマート・FウォールA型+FメッシュフェンスV型は、柱ピッチが1000mm以下。
- この場合、端部柱セット同梱の取付説明書を参照し、ベース材 (ベース材B)・横棧 (横棧B)・横棧上 (横棧B上) を通常通り組み付けてください。

※2 補助柱ありの場合

- ベース材と横棧上は柱ピッチにより下記の組み合わせとなります。
- 最上部横棧は、横棧の縦棧を組み替えて取り付けてください。(P.7参照)

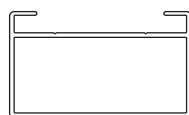
■柱・補助柱ピッチ表

	+マイティウッド	+メッシュフェンスV型
W1	800	1800
W2	400	800
W3	400	1000
W4	1000	2000
W5	400	1000
W6	600	1000
※1 W7	600 以下	1000 以下

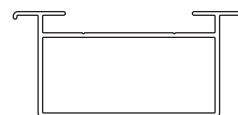
ベース材・横棧上について

補助柱がある場合、
+マイティウッドの場合はベース材・横棧上になりますが、
+FメッシュフェンスV型の場合はベース材B・横棧上になります。

ベース材断面図



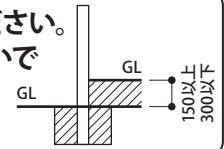
ベース材
(A型・マイティウッド)



ベース材B
(FメッシュフェンスV型)

1. 柱建込み前の確認及び部材の組付〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用〉

施工前にスマート・Fウォール/端部柱セット同梱の取扱説明書・取付説明書をご参照ください。本仕様はGLレベル差150mm以上～300mm以下の場合です。300mmを超える埋め込みしないでください。(150未満の場合は仕様異なります。それぞれの商品の端部柱セット同梱の取付説明書をご参照ください。)

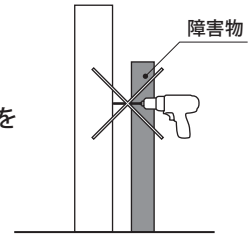


1. 電気配線の有無確認

照明・インターホン等の取り付けにて配線が必要な場合は、柱を建て込む前に必ず端部柱セット同梱の取付説明書の「照明・インターホンの配線及び取付」をご参照ください。

2. 障害物等の有無確認

障害物又は境界線等にて外側からの組み付けができない場合は、端部柱セット同梱の取付説明書を参照に組み付けてください。



3. 端部柱・中間柱・角柱・補助柱へのベース材取付部品の取付

柱を建て込む前に、端部柱・中間柱・角柱・補助柱にベース材W04 (W08) を組み付けるためのベース材取付部品を取り付けてください。 **参照** P.5

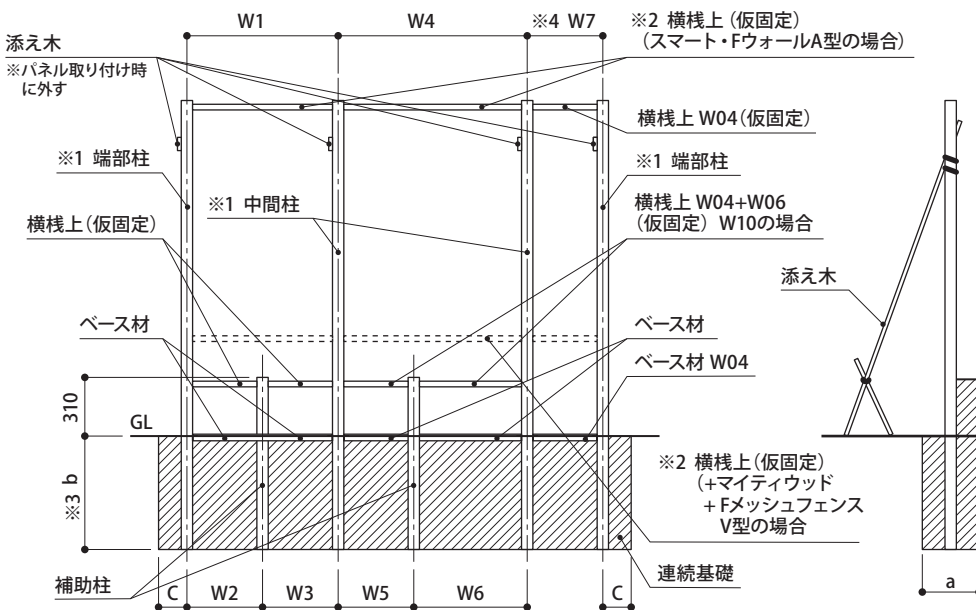
2. 基礎工事〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

1. 柱・補助柱の建込み **参照** P.5

- 商品により柱(補助柱)のピッチが異なります。下記商品別、柱ピッチ表を参照に柱の位置出しをしてください。
- 柱・補助柱の建て込みと同時にベース材を組み付けて、柱及び補助柱のピッチ出しを必ず行ってください。この時、柱・補助柱上部の横棧取付部品に横棧(横棧上)を取り付ける(仮固定)と柱の水平・ピッチ出しがしやすくなります。(下図参照)
- ※柱の固定は添え木等で柱上部を保持し、下から順次パネル(横棧)を組み付けて柱を固定後、上部パネル組み付け時に添え木を外してください。(下図参照)

⚠ 注意

- 柱・ベース材の水平・垂直・レベル出しを正確に行ってください。
 - 柱のピッチが出ていないと、パネル間の隙間が出たり組み付けできない場合があります。
 - 片側埋込み仕様の場合、土盛りはパネル施工後に行ってください。
- また、埋込み部の高さは300mm(本体パネル1段分)以下にしてください。



- ※1 A型の場合、端部柱は端部柱①②③、中間柱は中間柱①②③になります。
- ※2 補助柱があるスパンの最上部横棧は縦棧の組み替えが必要です。 **参照** P.7
- ※3 柱と補助柱の埋込み寸法(b)は同じです。

※4 現場切詰めにて補助柱を必要としない場合の寸法。

2. 基礎の打設

柱の建て込み後、下記寸法にて基礎を打設してください。

■基礎寸法

H サイズ	貼付け重量 55Kg/m ² 以下		貼付け重量 55～75Kg/m ²		c
	a×b	a×b	a×b	a×b	
1200	200	450	250	450	150
1500	250	500	300	500	150
1800	250	600	350	600	150
※1 2100	300	650	400	650	200
※1 2400	350 ※2(300)	700	—	—	200

⚠ 注意

- 基礎は必ず連続基礎施工としてください。
- 基礎打設前に必ず柱とベース材は組み付けておいてください。打設後はベース材は取り付けできません。
- コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系やアルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤・凝固促進剤・急結剤)などは使用しないでください。アルミなどの金属が腐食する原因となります。非塩素系または非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- 指定基礎寸法は必ず守って施工してください。

※H2100(貼付け重量55～75Kg/m²)及びH2400(貼付け重量は55Kg/m²以下)は、柱③(108×60)仕様になります。 ※H2400の()内寸法は、柱①②(60×60)仕様(貼付け重量は10Kg/m²以下)の場合です。

■商品別 柱・補助柱ピッチ表

	商品名		
	A型	+マイティウッド	+メッシュフェンスV型
W1	800	800	1800
W2	400	400	800
W3	400	400	1000
W4	800	1000	2000
W5	400	400	1000
W6	400	600	1000
W7	400以下	600以下	1000以下

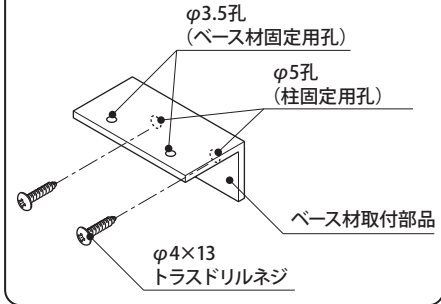
3.本体の施工〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

1.ベース材取付部品の取付 (柱建込み前)

①柱・補助柱にベース材取付部品のφ5孔に、φ4×13トラッドリルネジで取り付けます。ベース材取付部品…端部柱の場合は1個、補助柱・中間柱・角柱の場合は2個組み付けてください。

ご注意

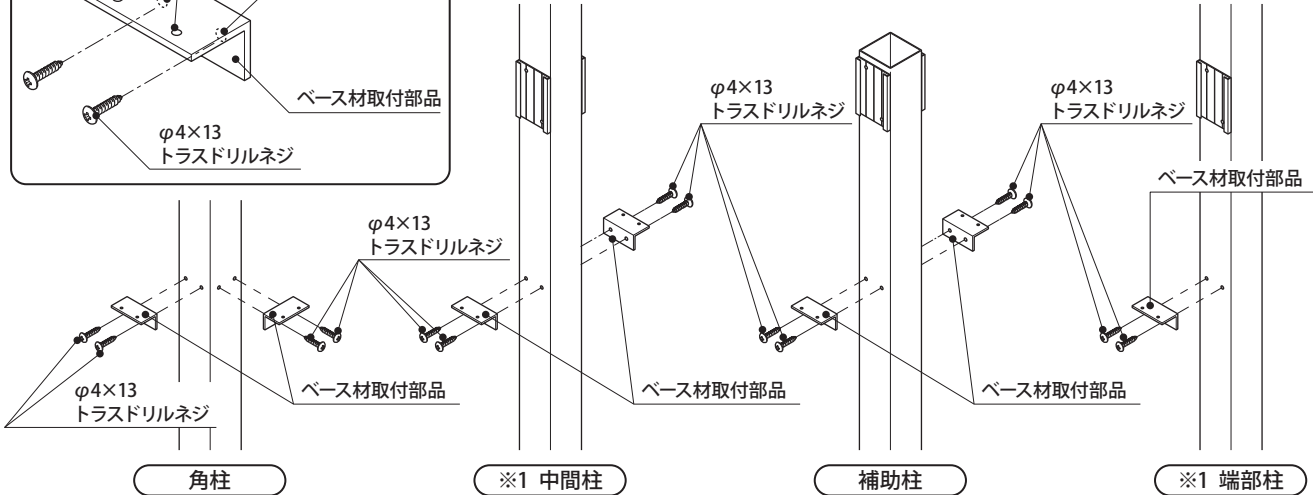
ベース材取付部品の向きに注意して柱に取り付けてください。



●本図は+マイティウッド、+Fメッシュフェンスの場合です。

※1 A型の場合、端部柱は端部柱 ① ② ③ 端部柱 ③は(1本入)になり、中間柱は中間柱 ① ② ③になります。

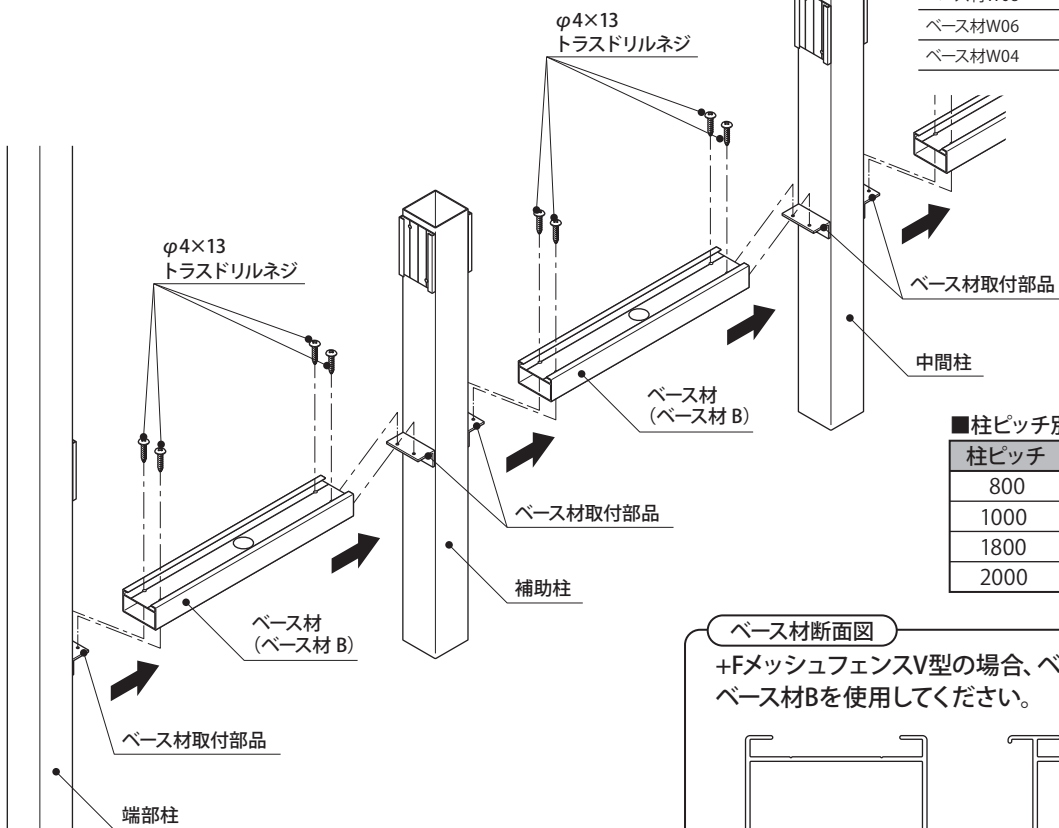
部材名	梱包名称
※1 端部柱	端部柱 (2本入) セット
※1 中間柱	中間柱 (1本入) セット
角柱	角柱 (1本入) セット
補助柱	補助柱 (1本入) セット
ベース材取付部品	横棧B上・ベース材B W08セット
	横棧B上・ベース材B W06セット
	横棧上・ベース材W10セット
	横棧上・ベース材W08セット
	横棧上・ベース材W06セット
	横棧上・ベース材W04セット



2.ベース材の組付 (柱建込み時)

①柱・補助柱を立て、ピッチに合わせて各ベース材 (ベース材B) にベース材取付部品を差し込んでφ4×13トラッドリルネジで取り付けます。

部材名	梱包名称
ベース材W10	横棧上・ベース材W10セット
ベース材W08	横棧上・ベース材W08セット
ベース材W06	横棧上・ベース材W06セット
ベース材W04	横棧上・ベース材W04セット

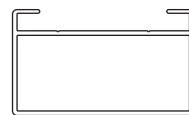


■柱ピッチ別ベース材組み合わせ表

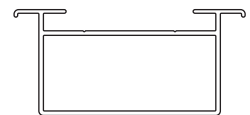
柱ピッチ	ベース材組み合わせ
800	W04+W04
1000	W04+W06
1800	W08+W10
2000	W10+W10

ベース材断面図

+FメッシュフェンスV型の場合、ベース材が異なります。ベース材Bを使用してください。



ベース材 (A型・マイティウッド)



ベース材 B (FメッシュフェンスV型)

●本図は+マイティウッド、+Fメッシュフェンスの場合です。

3.本体の施工〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

3.最下部パネル底面へのパネル隙間埋め材の貼付け（スマート・Fウォール+FメッシュフェンスV型を除く）

- ①片側埋込み仕様の場合、埋め込まれる一番下のパネル底面凸部にパネル隙間埋め材の貼り付けが必要となります。
 それぞれの商品の端部柱セット同梱の取付説明書の「最下部パネルの組付」の「最下部パネル底面へのパネル隙間埋め材の貼付け」を参照してください。

部材名	梱包名称
パネル隙間埋め材	パネル隙間埋め材セット

4.最下部パネルの組付

- ①最下部パネルはパネル隙間埋め材を貼り付けた側を段差側にして、ベース材の上に組み付けてください。

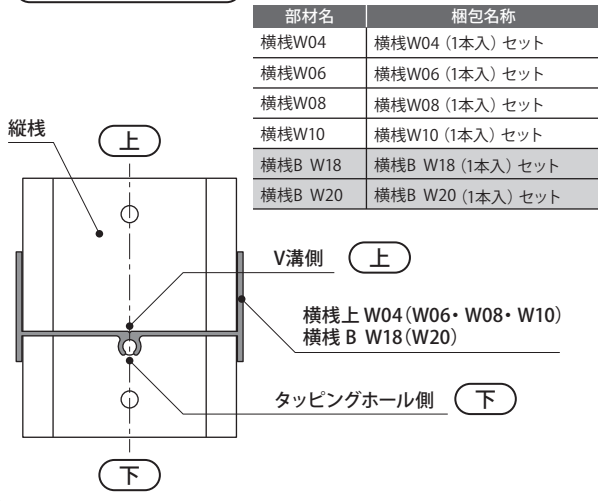
参照

パネルの組み付け方法は端部柱セット同梱の取付説明書の「パネルの組付」を参照に組み付けてください。

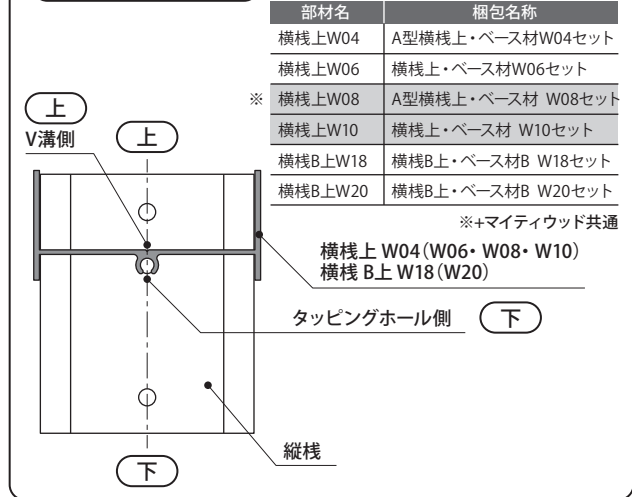
5.横棧及び横棧上の組付

ご注意 横棧・横棧上には向きの上下がありますので、間違わないようにしてください。

横棧縦断面図



横棧上縦断面図



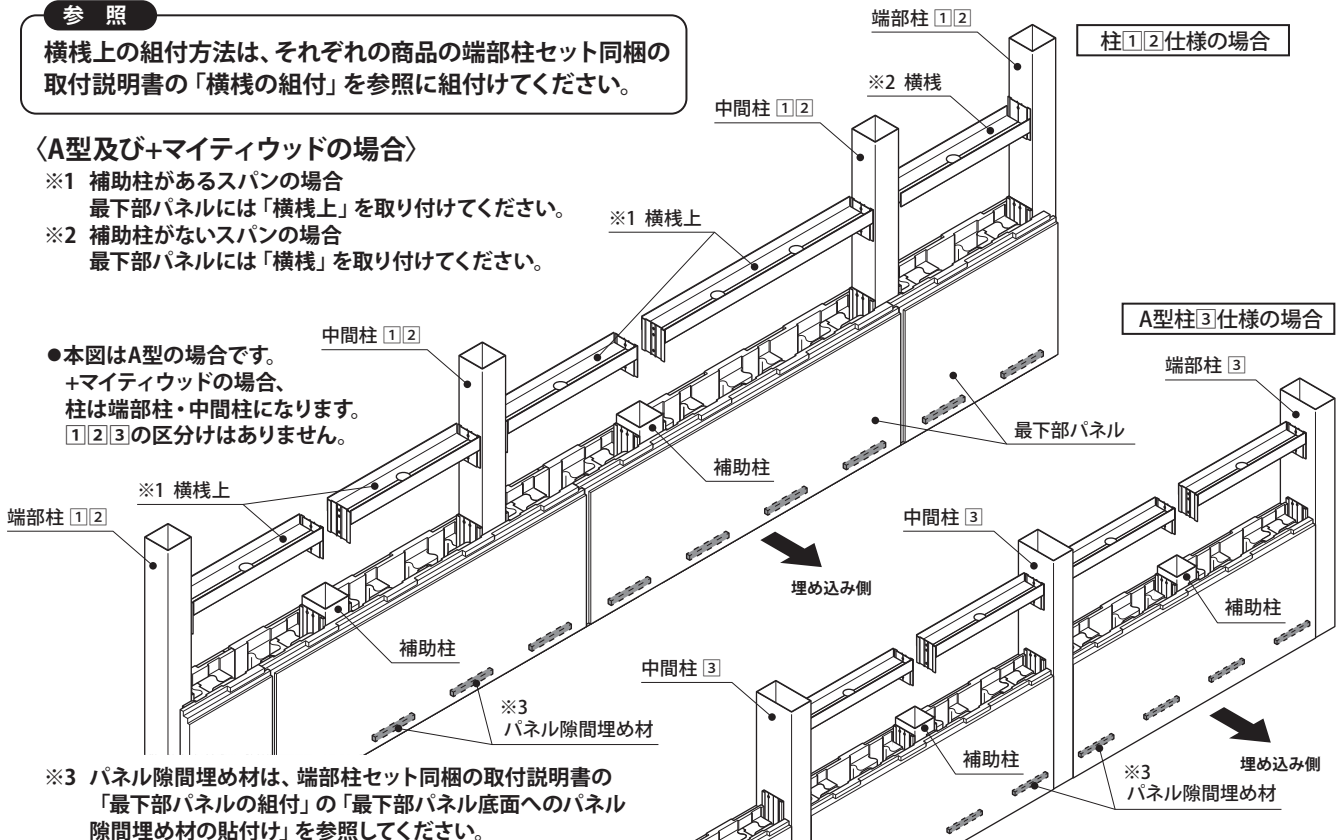
参照

横棧上の組付方法は、それぞれの商品の端部柱セット同梱の取付説明書の「横棧の組付」を参照に組付けてください。

〈A型及び+マイティウッドの場合〉

- ※1 補助柱があるスパンの場合
 最下部パネルには「横棧上」を取り付けてください。
- ※2 補助柱がないスパンの場合
 最下部パネルには「横棧」を取り付けてください。

●本図はA型の場合です。
 +マイティウッドの場合、
 柱は端部柱・中間柱になります。
 ①②③の区分けはありません。



- ※3 パネル隙間埋め材は、端部柱セット同梱の取付説明書の「最下部パネルの組付」の「最下部パネル底面へのパネル隙間埋め材の貼付け」を参照してください。

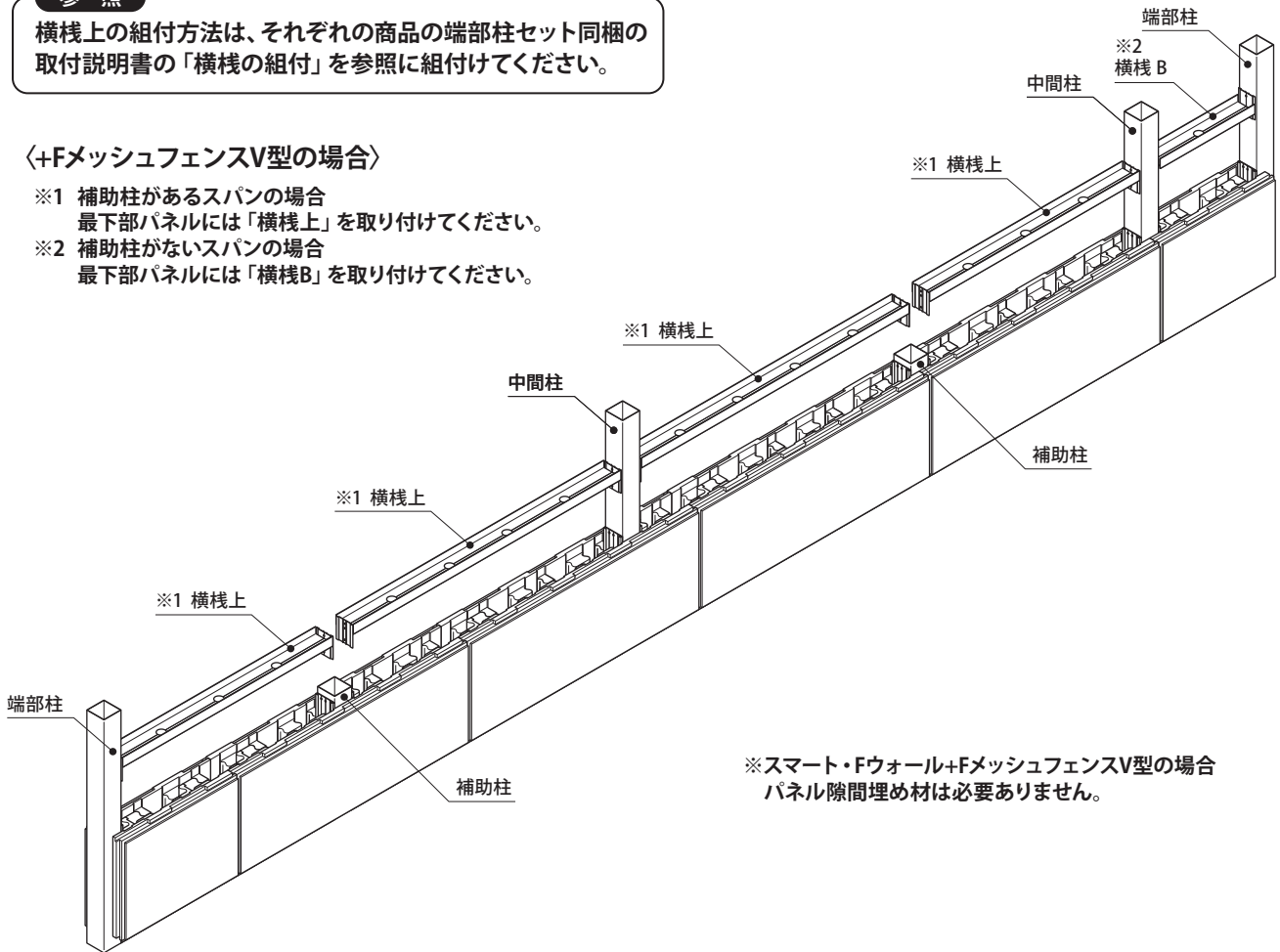
3.本体の施工〈塗装済・現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

参照

横棧上の組付方法は、それぞれの商品の端部柱セット同梱の取付説明書の「横棧の組付」を参照に組付けてください。

〈+FメッシュフェンスV型の場合〉

- ※1 補助柱があるスパンの場合
最下部パネルには「横棧上」を取り付けてください。
- ※2 補助柱がないスパンの場合
最下部パネルには「横棧B」を取り付けてください。



※スマート・Fウォール+FメッシュフェンスV型の場合
パネル隙間埋め材は必要ありません。

6.パネル2段目以降の組付

参照

それぞれの商品の端部柱セット同梱の取付説明書の「パネル2段目以降の組付」を参照に組み付けてください。

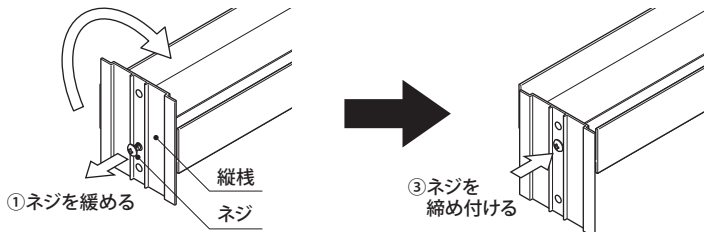
7.最上部横棧の組付 (補助柱があるスパンの場合)

- ① 補助柱があるスパンの場合、最上部パネルの固定は横棧に付いている縦棧を組み替えて取り付けてください。(下記参照)
補助柱がないスパンの場合は、そのまま横棧上を組み付けてください。

部材名	梱包名称
横棧上W04	横棧上・ベース材W04セット
横棧W08	横棧W08セット
横棧W10	横棧W10セット
横棧B W18	横棧B W18セット
横棧B W20	横棧B W20セット

●最上部横棧の縦棧組み替え(柱ピッチ1000mm・800mmの場合)

② 縦棧を180°回転させる



縦棧を固定しているネジを緩めて、縦棧を180°回転させる。

再度ネジを締め付けてください。

参照

それぞれの商品の端部柱セット同梱の取付説明書の「横棧上の組付」を参照に組み付けてください。